

平成25年度教員評価結果【総合分析】

1. 提出状況 全学

教員数A	提出者数B	未提出者数C(D)	実提出率	(前回:23年度)
310名	302名	8名	98.1%	99.1%
		(長期出張者等)(D) 2名	$B \div (A - (D))$	対前回△1%

小数点第2位四捨五入

【分析結果】

実提出率は、98.1%であり、前回実施時(23年度:99.1%)より1%下回っている。

2. 領域別評価状況

評価	教育領域	研究領域	組織運営領域	社会貢献領域
A	14.6%	18.5%	14.9%	15.9%
B+	50.7%	43.0%	35.1%	36.8%
B	33.4%	31.8%	47.4%	38.1%
B-	1.3%	5.3%	1.3%	4.0%
C	0.0%	1.3%	0.7%	0.7%
評価無	0.0%	0.0%	0.7%	4.6%

小数点第2位四捨五入

表示記号と評価

A=特に優れている	B+=普通(プラス) 工学研究科=普通だが やや優れている	B=普通	B-=普通(マイナス) 工学研究科=普通だが やや改善の余地がある	C=改善の余地がある
-----------	-------------------------------------	------	---	------------

【分析結果】

別紙のとおり

3. 再評価の申請状況(件数) 0件

【分析結果】

再評価の申請はなかった。

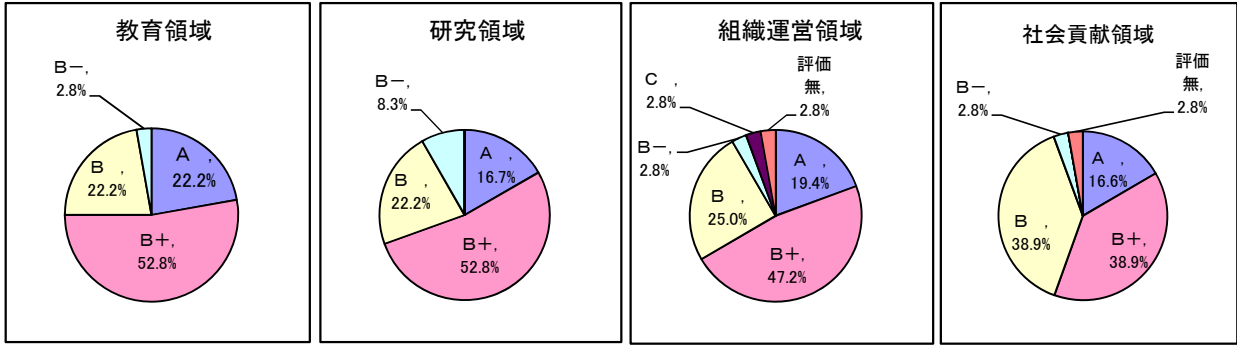
4. 総合分析

【分析結果】

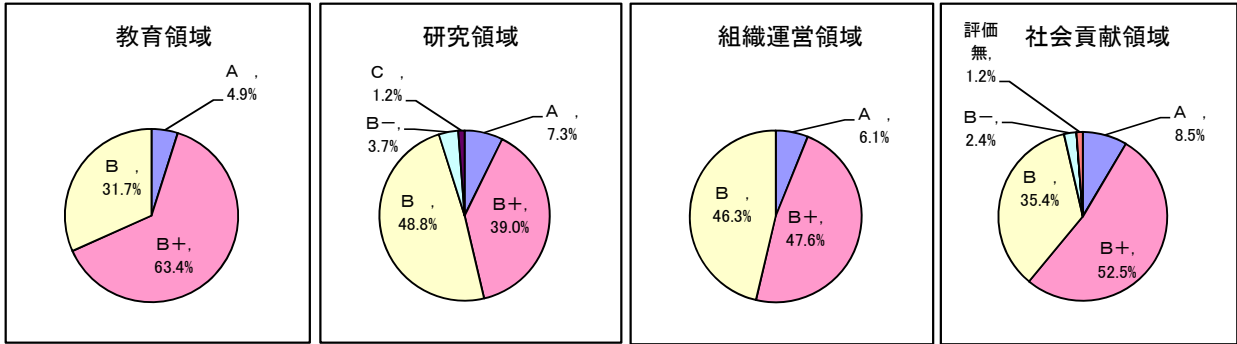
前回(平成23年度)と比較して、顕著な変化はない。領域別で見ると、教育領域ではB+評価が2.6%増加し、研究領域ではB+評価が10.6%増加した。組織運営ではほとんど変化は見られず、社会貢献ではB+評価が4.8%、B評価が2.2%増加した。割合では各分野とも基準値B、B+が多数を占めている。教育領域ではB、B+が84.1%、研究領域では74.8%、組織運営で82.5%、社会貢献で74.9%を占める。

領域別評価結果(平成25年度)

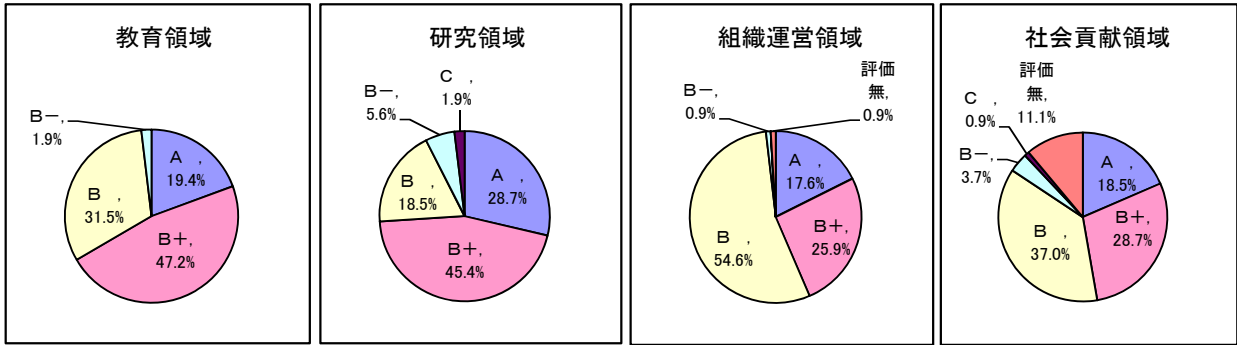
【国際学部】



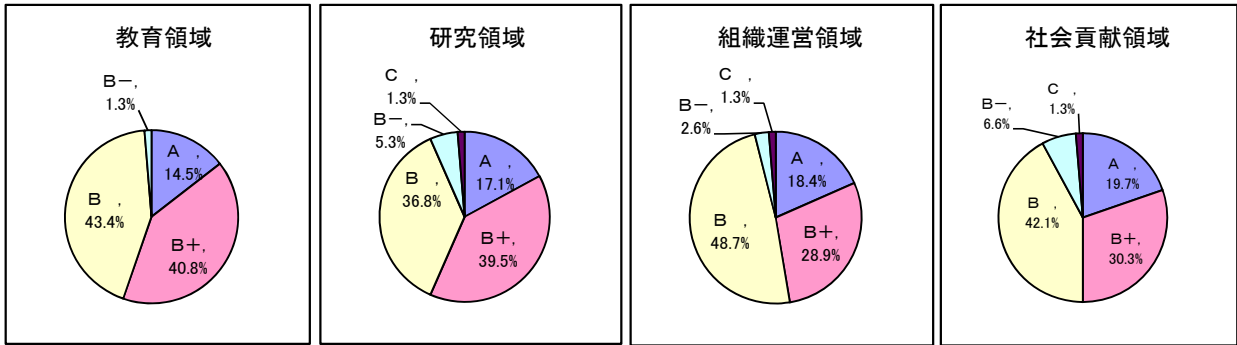
【教育学部】



【工学研究科】



【農学部】



【全学】

